

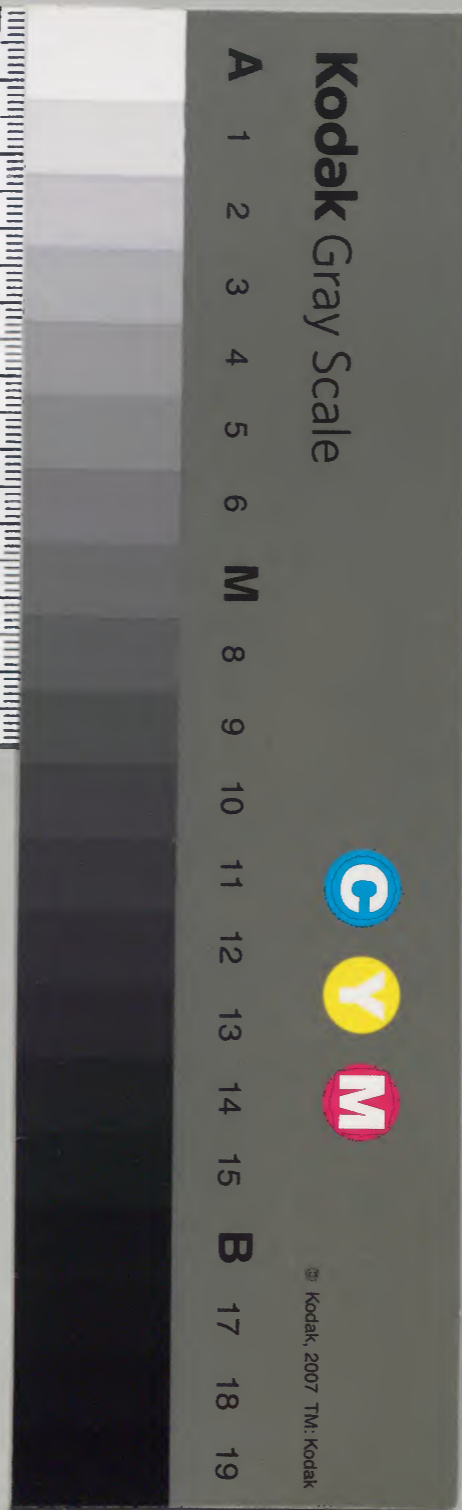
馭戎慨言

下之下

太政官文庫				和書門
冊	二架	九函	八四號	

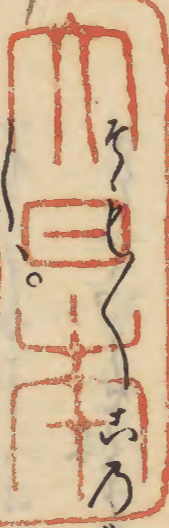
內閣文庫				和書
冊	九架	四冊	四四號	

內閣文庫	
番號	和 8084
冊數	4 (4)
函號	184 192

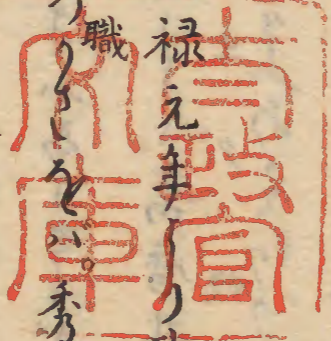
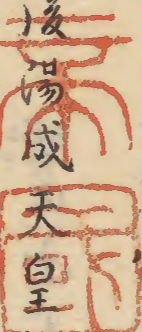


馭戎概言下之卷下

そしつゝ乃豊國神のてゝんのかをうらひ



後湯成天皇於伊弉册又禄元事りまゝ始まり記。



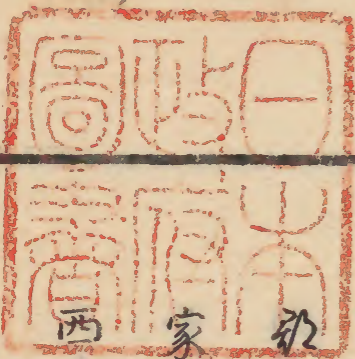
その松をくわく関白のつゝを職秀次君ふゆづり

於多那護屋の伊弉册ミイホリまりて。佐前宰相秀

家卿をよぶてのいくさの君と。加藤主計頭清正小

西根津守行長を先鋒とて。その外あまのの大

名とらふびと。此ミイホリ軍ミイホリありて。ふやと



○下之下

○初

明治九年購求

くかの玉王をばおひかして。その國をのりてくが
くらしう。又りわりの玉より。つまむ軍をかし。
おのを^酒をさそをふかどして。こかくを^救らひしあし。
致ふ^いび^いど^い軍の^いつ^いく^い。いとく^いし^いま
い^いさ^いひ^いあ^いり^いや^いる^いと^い。皇^いの^い書^いと^い。朝鮮^いの^い
く^いの^い書^いも^いと^い。つ^いさ^いふ^いあ^いる^いが^いど^い。け^い時
明^いの^いお^いと。神宗^いと^いる^い王^いが^いせ^いく^い。萬曆^い廿^い年^いと^いる^い年^いの
ま^いな^いり^いし^いふ^い。は^いの^い軍^いふ^いあ^いる^いり^いあ^いる^いを^い渡
く^いく^い。ま^いせ^いく^いと^いい^いひ^いく^い。その^い王^いと^い官^い人^いど^いと^いい^いく^い
く^いか^いら^いを^いの^いき^いつ^い。計^い不^い知^い所^い出^い
く^いか^いら^いを^いの^いき^いつ^い。い^いく^いま^いに^いせん^いと^いや^いあ^いる^いを^いあ^いへ^いる^い

き。朝鮮王の平壤とる所へふぎのさしを。くさ
しえ^いく^いび^い。ま^いと^いふ^いぎ^いそ^い。義州^いと^いる^いと^いる^いふ^いの^いさ^い
し^いが^いり^いと^いへ^い。小西^い行^い長^いの^いと^いと^いり^いい^いひ^いつ^いり^いく^い
書^いふ^いく^い。日本^い與^い大明^い動^い干^い戈^い。是^い九^い牛^い一^い毛^い。大^い海^い一^い
粟^い也^い。雖^い然^い。以^い難^い違^い國^い命^い。要^い借^い路^い於^い朝鮮^い。吾^い國^い一^い統^い以^い
來^い。國^い富^い民^い豊^い。無^い望^い奪^い國^い。又^い無^い意^い掠^い財^い。只^い以^い欲^い復^い怨^い也^い。
朝鮮^い介^い於^い兩^い國^い之^い際^い。路^い經^い入^い大明^い。除^い朝鮮^い外^い。又^い何^い國^い
乎^い云^いく^いと^いい^いつ^いり^い。九^い牛^い一^い毛^い云^いく^いか^いく^い。敵^いを^いつ^いか^いど^い
く^いく^いい^いん^い詞^いか^いど^いふ^いと^い。か^いく^いと^いる^いべ^いく^いと^い。か^いふ^いを^いり^い
ふ^いか^いの^いふ^いの^いを^いく^いい^いつ^いら^いの^いの^いぞ^いや^い。け^いは^いは^いの^いの^い

○下之下

○二

いまわひのさばり盛なりしあはせても。かゝる文
と辯とどしとの。さぞくかくもくつるかありしを。とく
くらをしく。かぬまごうし。かくそよの年の八月。
行長が平壤よりうける許へ。明より遊撃將軍沈惟
敬といふとのまゝ。ひつびをいひらふ。行長あひて。
七條より明書を作す。明王の書を兼諾
ハ。軍をやせん。ふ十日がふ。ふりとせよといひつ
せやうに。又そのとさ沈惟敬がりくかうし書あり。
日本差来先鋒豊臣行長。謹啓大明遊撃將軍沈公
閣下。日本絶朝貢者久矣。数年雖求計和議於朝鮮。

朝鮮不應日本之求。故起兵矣。惟時閣下来平壤。實
兩國復舊規之起本乎。抑閣下以轉奏遣天使於日
本。以為和親之驗。則幸莫大焉。若見許天使。則相待
者以中間五十日為期。若又悞期者。則難留日本。諸
將於朝鮮城中。伏乞亮察。誠恐頃首不宣。といふ。明
の書どし。宗應昌得傳報。惟敬書といふ。ハ。論明遊
撃將軍とるべし。そよ日本絶朝貢といひらふ。や。い
のうをくもりまじりて。朝鮮の懲忿録といふ。そよ。
い方の軍のしやを。皇女の玄蘇といふ。しや。そよ。

まひ詞し。かくて沈惟敬をシめふらう。右のくさうは
其を王ふくしてひく。明明年三月おやまひふ又来て
うれ七くさうを来す。明明王王きひきうくさうを報り
うてしるす。ゆまじ和平ひをかひりしより後かまうり
うれば。おれたきふらうつらひひくしるす。大岡ま
とちがし率きりして。はひし率きりして。明王が仗まを沈惟
敬を率めわく。那護屋の侍イカリ營ふありぬ。文禄二年五
月おのりありて。大岡の仗謝用梓徐一貫を前不
あし遇てわひあひ。ひつぎの業をくさうをせりひく。孫
ん遇らふあし遇らひあひ。物をどくさうをくさう遇ひし。六月

ふくし遇らひあひ。はひし率きりして。明王が仗まを沈惟
敬を率めわく。那護屋の侍イカリ營ふありぬ。文禄二年五
月おのりありて。大岡の仗謝用梓徐一貫を前不
あし遇てわひあひ。ひつぎの業をくさうをせりひく。孫
ん遇らふあし遇らひあひ。物をどくさうをくさう遇ひし。六月
朝鮮のりぬと。王が子をくさうをせりひく。はひし率きりして。明王が仗まを沈惟
敬を率めわく。那護屋の侍イカリ營ふありぬ。文禄二年五
月おのりありて。大岡の仗謝用梓徐一貫を前不
あし遇てわひあひ。ひつぎの業をくさうをせりひく。孫
ん遇らふあし遇らひあひ。物をどくさうをくさう遇ひし。六月
大明と被作出條数。於相究者。朝鮮國王之儀。雖
一朝鮮之儀。先勢居越悉サキしサキ付サキひ。此上者。經年月。
民百姓已下。静謐之様。弥遣人数。被作下サキひ。今乃
大明と被作出條数。於相究者。朝鮮國王之儀。雖

○下之下

○五

不相_レ重_カ。大明_ノメ_レト_レセ_レラ_レ。又_ハ者_ハ最_モ前一_レ禮_ヲ
々_シト_レ上_ル條。朝鮮_ノ都_ノ付_テ而_テ可_ク被_レ遣_ハ四_ノ箇_ノ道_ノ
子_ノ。右_ノ王子_一人_ノ并_テ家_ノ老_衆々_ト被_レ留_メル_{コト}。一_ノ取_ル生_ヲ捕_ム
王子_二人_一之_ノ儀_者。非_ズ下_ル之_者。條_ハ被_レ撰_ス。爲_シ四_ノ
人_ノ清_取。唯_{シテ}今_ノ遊_撃被_レ派_ス。朝鮮_ハ可_ク還_ル。一_ノ於_テ鮮_ハ
家_ノ老_之者_也。永_代被_レ遠_ク召_ス。誓_紙之_者。右_ノ
越_テト_レ消_ス。大明_ノ之_ノ勅_使。一_ノ牧_使。城_ノ取_ル。是_レ仕_寄。築_山
ト_レ付_テ。手_ノ負_ム之_ノ様_令覺_悟。如_ク何_カ。夫_ト仕_一人_ト
之_ノ然_レ。討_果ル_{コト}。一_ノ於_テ其_ノ上_ニ赤_國へ_テ被_レ勅_ス。被_レ成_敗ル_{コト}。
一_ノ赤_國成_敗之_ノ上_ニ。右_ノ前_ノ之_ノ城_ヲ被_レ持_テ。依_テ人_ノ被_レ殺_ス之_ノ多_ク少_ク

城_ノ之_ノ大_小。俱_ニ見_レ計_ス。夫_レ可_ク被_レ持_テ。一_ノ中_國庇_隆景_{。四}
國_ノ庇_船手_之者_也。其_ノ之_者。九_州庇_之外_ノ。分_ル。釜_山浦_{。熊}
熊_川浦_{。其}近_所。被_レ控_メル_{コト}。一_ノ兵_糧藏_之。其_ノ城_ノ持_テ。應_{。應}
人_ノ數_ヲ被_レ定_メ。入_レ置_ル。一_ノ地_ノ。曾_レ右_ノ。同_ノ。一_ノ鉄_炮。玉_{。玉}
藥_ヲ。力_ヲ。同_ノ。一_ノ自_然。大明_ハ。使_レ使_言。上_ル。一_ノ
云_ハ。其_ノ油_斷。太_ク。通_テ。付_ル。來_年。名_護屋_へ。被_レ成_{。成}
在_レ付_ル。被_レ作_ル。付_ル。一_ノ仕_金等_{。於}。被_レ。上_ル。者_{。備}前_{。前}
宰_相。者_{。名}護_屋へ_テ。在_レ城_ノ。付_テ。壹_岐對_馬。一_ノ
。御_馬。色_{。了}。在_レ番_{。被}作_ル。一_ノ於_レ。樣_{。騎}委_曲。熊_谷
半_次水_野。玖_左米_門。兩_人。被_レ作_ル。含_ル。文_祿二_年五

月朔日、秀吉朱印。淺野彈正殿、黒田勘解由殿、坊田
右出門尉殿、石田治初少神殿、大谷刑部少神殿と
なり。此法書の中、大明小へ作出さる條あり。大
字ハ例のまゝしむるべき也。このまゝひびきありし。
於鮮小玉之儀、最前一札をとり上げ條にて被遣、四箇
道す。このりありし。たゞて、被遣大明之勅使に
しよりし。但し大明之勅使にしよりし。のまゝ
使者としりべし。大明小に宛たりし上ハ、
鮮小よりし。此一を以てし、の太閤の心のかど、
しりし。しりし。漢文よりし。しりし。しりし。

けさるふしやりし。大明帝王之姫宮。日
本帝王之為后。被お遣之由なり。ととありし沈
惟敬がしりし。しりし。漢の代、公主を
匈奴に送りし。女を。明王がしり
めしりし。太閤しりし。お遣之しりし。
ひびきし。の書がしりし。しりし。しりし。
帝王之后としりし。しりし。しりし。しりし。
をつりし。しりし。しりし。しりし。しりし。
太閤しりし。しりし。しりし。しりし。しりし。
かがりし。しりし。しりし。しりし。しりし。

皇朝のうげりかくもさかたを志先とてまじりてし。

天皇をよそそまり給ひのこり給ひ。又よそ給ひのこり給ひ
事をお先とあはれ給ひ。まねを。まねは方の大岡と明
王とのいびつびかどあはれ。よそは帝とかりて。かの
かうとよそ給ひ。よそとよそ給ひ。よそとよそ給ひ。よそと
よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。
て。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。
かかして。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。

天皇をよそそまり給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。
あつして。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。

ての^謙く^損り給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。
し。物をよそ給ひ。

天皇はまじり給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。
をバ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。

天皇はまじり給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。
て。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。

天皇のよそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。
けろく。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。

天皇は皇の字をよそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。よそ給ひ。

馳使告之。といつて。さういふ。奏之といふ。此の
明と。いふ。と。いふ。を。奏。天朝。か。ど。いふ。か
ら。いふ。と。いふ。を。奏。天朝。か。ど。いふ。か
ら。いふ。と。いふ。を。奏。天朝。か。ど。いふ。か

天皇に。いふ。を。告。といひ。く。いふ。いふ。ん。や。い。関。白。と。い
秀次。君の。いふ。し。こ。大。関。の。いふ。いふ。今。の。関。白
ふ。ま。い。ま。い。は。つ。つ。を。いふ。いふ。いふ。いふ。大
関。沈。惟。敬。ふ。いふ。いふ。いふ。日本。國。前。関。白。秀。吉。
書。大。明。國。使。遊。擊。將。軍。沈。宇。愚。麾。下。大。明。日本。為。和
親。於。朝鮮。國。趨。而。入。予。前。驅。營。中。切。詢。起。兵。故。實。猛
將。也。長。盛。吉。繼。三。成。行。長。四。臣。具。奏。達。之。矣。急。雖。可。

裁。瓊。報。前。年。委。関。白。職。於。秀。次。秀。次。可。達。之。於。天。聰
也。任。予。思。慮。難。可。決。大。事。不。紊。大。綱。者。世。禮。也。圖。之
王。京。去。此。地。水。雲。遼。遠。依。之。大。明。使。者。停。台。輿。於。此
營。中。旬。涉。猶。豫。不。捨。晝。夜。以。命。侍。臣。馳。羽。檄。檄。書。待
相。達。可。投。回。報。餘。者。附。四。臣。舌。頭。書。底。蘊。方。物。如。別
錄。領。納。恃。長。刀。十。振。投。贈。焉。以。黃。金。纏。累。之。不。宣。仲
夏。日。秀。吉。朱。印。達。沈。惟。敬。遊。擊。將。軍。と。いふ。いふ。いふ。例。の
大。明。の。大。字。日。本。の。上。ふ。つ。い。か。ま。い。い。秀。吉。と。い
ふ。と。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。書。字。の。上。ふ。り。い
か。ら。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。大

明日本と。日本明國と云ぶ。奏達とハ。大國の事
へし。ずゆとバ。奏字いと。秀次可達之於天聽
也とハ。

天皇へ申す。人々の事。いさひにみざる。人の事。
人の事。いさひにみざる。人の事。いさひにみざる。
人の事。いさひにみざる。人の事。いさひにみざる。
人の事。いさひにみざる。人の事。いさひにみざる。

天朝への事とす。いさひにみざる。王京ハ。帝京又を
皇京とあらる。いさひにみざる。河ハ。いさひにみざる。
いさひにみざる。いさひにみざる。いさひにみざる。
いさひにみざる。いさひにみざる。いさひにみざる。

て。いさひにみざる。いさひにみざる。いさひにみざる。
いさひにみざる。いさひにみざる。いさひにみざる。
いさひにみざる。いさひにみざる。いさひにみざる。

皇朝へ申す。いさひにみざる。いさひにみざる。いさひにみざる。

いさひにみざる。いさひにみざる。いさひにみざる。いさひにみざる。

日本傳明詔。遠出大唐報聖光。いさひにみざる。いさひにみざる。

の字皇字がどれたがひを。おかくれたりして。い
くくわ乃ぞうこまををりて。いさゝかうりて。い
て又い。増田ちあつ村長盛。石田治於少補三成。
大谷刑部少補吉継。小西抄津守行長し。口人ふ作て
つぎ。傳書。對大明勅使。可告報之條目。一夫
日本者神國也。神即天帝。天帝即神也。全無差。依之
國俗風度。崇王法。體天則。地有言者。令。雖然。風移俗
易。輕朝命。英雄爭權。隣國分萌矣。予之慈母懷胎之
初夢。日輪入胎中。覺後驚愕。而即相士卜之。曰。天無
二日。德輝弥四海之嘉瑞也。故及壯年。夙夜憂世。愁

國。再會復聖明於神代。遺威名於萬代。思之不止。終
經一有。一年。族滅凶徒。姦黨而攻城。無不拔。敵陣無
不廢。有乖心者。自消滅矣。已而國富家娛。民得其所。
而心之所念。無不遂。非予力。天之所授也。一日本之
賊船。年來入大明國。橫行于處。雖成寇。予曾依有
日光照臨天下之先兆。欲匡正八極。既而遠鳴邊陲。
海路平穩。通貫無障礙。制禁之。大明亦非所希乎。何
故不伸謝詞耶。蓋吾朝小國也。輕之侮之乎。以故將
兵欲征大明。然朝鮮見機。差遣三使。結隣國。允隣丁
前軍渡海之時。不可塞粮道。不可遮兵路之旨。約之

○下之下

○十四

へ〜あ〜あ〜あ〜あ。明のまらひの軍入イナヒりて。
 いろ〜いろ〜いひて。と〜と〜有〜有〜ふ。四軍ハ作せのま
 に。晋州の城と〜を。て〜と〜先お〜して。そのを首さか
 り牧使徐礼えと〜のを。と〜と〜ら〜ら〜ら〜ら。明の
 を〜を〜い〜い〜い〜い〜い〜い。沈惟敬をい〜り〜り〜り〜り〜り。
 い〜い〜い〜い〜い。惟敬小西が〜り〜り〜り〜り〜り。あ〜あ〜あ〜あ〜あ
 い〜い〜い〜い〜い。と〜と〜と〜と〜と。お〜お〜お〜お〜お。い〜い〜い〜い〜い。い〜い〜い〜い〜い。
 海を〜を〜を〜を〜を。び〜び〜び〜び〜び。明の軍ハ
 ち〜ち〜ち〜ち〜ち。や〜や〜や〜や〜や。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。
 い〜い〜い〜い〜い。あ〜あ〜あ〜あ〜あ。と〜と〜と〜と〜と。は〜は〜は〜は〜は。お〜お〜お〜お〜お。石星小

ち〜ち〜。石星とい〜と〜と〜と〜と。王〜王〜王〜王〜王。い〜い〜い〜い〜い
 ひ〜ひ〜。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。
 ち〜ち〜。明の軍ハま〜ま〜ま〜ま〜ま。い〜い〜い〜い〜い。明の軍ハ金
 山とい〜所〜所〜所〜所。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。
 とい〜明王い〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。
 つ〜つ〜も。大崗のい〜い〜い〜い〜い。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。
 と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。
 と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。
 の〜の〜と。明〜明〜明〜明〜明。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。と〜と〜と〜と〜と。

事はふいかに罷。とびりびのあき。もつりしむら。もし。物もののふりおも。つこと。ひびつびのこ。いし。う。い。て。沈惟敬が。つ。つ。あ。ん。と。め。ひ。し。ふ。もの。ふ。お。つ。り。し。ふ。り。て。ひ。如。安。を。し。ス。ー。く。遼。東。と。い。ふ。ふ。く。ご。め。を。て。王。が。さ。り。ん。へ。し。よ。も。ど。じ。ふ。ま。す。さ。り。く。ふ。さ。じ。う。あ。り。や。ふ。朝鮮。王。と。や。く。日。不。お。び。び。を。さ。の。て。お。の。ご。ま。や。その。ま。た。し。き。り。し。明。王。へ。お。び。ひ。ひ。さ。げ。石。屋。さ。り。て。び。て。あ。つ。さ。つ。へ。あ。り。て。ま。ん。あ。ひ。く。王。お。さ。ら。ん。て。如。安。を。も。北。京。へ。と。り。よ。せ。る。如。安。を。し。て。あ。り。ら。へ。あ。り。し。ま。の。た。り。び。石。司。馬。優。遇。如。王。公。と。お。お。め。ゆ。い。ふ。と。し。あ。る。さ。り。

きて。う。さ。げ。し。き。る。い。ま。も。の。う。だ。り。ひ。如。安。の。せ。ん。ひ。さ。ふ。い。り。く。う。ま。が。諾。い。ま。す。う。い。ひ。さ。げ。ら。り。し。し。ら。べ。い。ま。す。ゆ。り。い。て。む。か。う。お。ま。ん。あ。ひ。ひ。さ。げ。ひ。め。の。如。安。が。さ。り。う。ひ。ち。の。あ。つ。ぐ。く。大。岡。の。い。し。し。は。皇。ほ。の。い。し。き。さ。ら。の。う。だ。り。ま。い。ま。ん。さ。り。る。さ。が。中。あ。し。い。し。う。り。し。し。お。ま。の。お。の。名。と。天。皇。と。い。ひ。又。國。王。と。い。ふ。う。ら。天。皇。と。あ。く。ら。は。王。あり。や。い。と。と。問。う。者。へ。ふ。天。皇。と。い。ふ。ら。は。王。と。い。ふ。て。う。や。く。信。長。の。う。ら。さ。ら。い。れ。し。う。い。つ。り。ま。い。ら。ふ。し。と。が。う。い。し。し。か。ら。い。ま。を。さ。へ。し。い。あ。る。



のくふがさういづり。如安と。遼東に久しく居るを
いひて。おとろしきまに居る。いふもいひの
かまへ。くやく^ゆじやくとおして。ゆづりよかき。
ひしきま。い如安と。丹波の人の人。ご
えりき。のきりゆか。行長おのが氏をわ
けり。い如安もきき。行長おのが氏をわ
てり。い如安もきき。行長おのが氏をわ
かんあ。い如安もきき。行長おのが氏をわ
えり。い如安もきき。行長おのが氏をわ
を^{怯弱}い。い如安もきき。行長おのが氏をわ

をのき。い如安もきき。行長おのが氏をわ
かくて明よ。い如安もきき。行長おのが氏をわ
かひ。い如安もきき。行長おのが氏をわ
者を副使して。い如安もきき。行長おのが氏をわ
軍。一人もい如安もきき。行長おのが氏をわ
とま。いひつき。い如安もきき。行長おのが氏をわ
のき。い如安もきき。行長おのが氏をわ
ひり。い如安もきき。行長おのが氏をわ
ふ。い如安もきき。行長おのが氏をわ
ん。い如安もきき。行長おのが氏をわ

くまらをしせ。皇女はいくさし人狩りせし。金山一に
まうゆて。さうに引くくさふあり。軍子くへし
へと。いひおとせり。ふは軍のしりり。明の使のり
ども。まがひいかりへまもといひつゝ。せむさかして。
まが金山のいかりへまゆぬ。ふがごさあつとつあふも。
狩りし。さうに思ふと。おかくて。ごかくせし。わごふ。
この明の使を。文禄四年の正月。北京をばわしりし
を。朝鮮を。げごつ。ふも。年とくまふり。そのわ
ひごふ沈惟敬も。大谷まよひ。長へ。さあぐの相なり。あ
ど。まらげふ。ごびるり。ひく。さあぐの。いんを。さく。

そおさ。又石星としり。わごひきて。ぶく。ふあま
ひつ。宗城方亨が。いし。つを。おと。さく。あふ。つ
あわし。く。の。さ。ひ。を。さ。さ。う。う。ら。り。て。い。し。く。お
ご。つ。れ。ど。い。ふ。く。お。と。さ。く。宗城ハ。王。が。書。を。し。と。さ
て。つ。ひ。ふ。あ。ご。う。く。さ。ふ。ら。ば。方。亨。を。正。使。に。惟。敬。を。副
使。し。ご。かり。し。し。あ。る。さ。う。て。軍。を。狩。り。さ。う。ら。れ。せ。惟
敬。さ。う。い。ひ。ま。ご。う。り。て。朝鮮の使。ご。と。を。も。ご。と。ふ。を
き。わ。く。つ。ひ。ふ。船。を。か。し。皇。國。に。し。り。く。慶。長。元
年。九。月。二。日。ふ。あ。ん。伏。見。の。城。し。り。あ。り。く。大。谷。ま
よ。え。り。き。し。ま。ゆ。揚。方。亨。と。沈。惟。敬。も。大。谷。の。い。

ませず⁺終ふ。そ⁺祠⁺し⁺ひ⁺く⁺お⁺が⁺し⁺ありふ⁺い⁺く⁺お⁺が⁺
ひ⁺く⁺。と⁺く⁺い⁺み⁺し⁺く⁺お⁺が⁺り⁺き⁺づ⁺り⁺。い⁺ん⁺し⁺あ⁺く⁺ぬ
や⁺た⁺ん⁺ふ。封⁺爾⁺為⁺日本國王⁺。い⁺く⁺ん⁺あ⁺る⁺を⁺に⁺じ
り⁺て⁺。俄⁺し⁺ふ⁺お⁺ま⁺り⁺り⁺。い⁺く⁺し⁺り⁺ひ⁺く⁺。
く⁺お⁺王⁺と⁺を⁺明⁺の國王⁺ふ⁺り⁺。あ⁺ん⁺と⁺し⁺り⁺り⁺。
せ⁺し⁺ふ⁺り⁺て⁺し⁺や。朝鮮⁺の⁺ま⁺ま⁺じ⁺と⁺を⁺も⁺ひ⁺し⁺。軍⁺を
も⁺釜山⁺ま⁺で⁺ち⁺り⁺ぞ⁺せ⁺つ⁺も。日本⁺王⁺ふ⁺こ⁺い⁺う⁺あ⁺ら⁺ふ⁺
ま⁺言⁺ぞ。い⁺く⁺の⁺い⁺く⁺ふ⁺ら⁺ハ⁺が⁺が⁺封⁺し⁺と⁺う⁺を⁺ん⁺。あ⁺ま⁺
ひ⁺と⁺。明王⁺い⁺ん⁺を⁺う⁺ら⁺り⁺。我⁺人⁺を⁺か⁺し⁺ひ⁺く⁺。ま⁺れ
を⁺り⁺ぞ⁺い⁺く⁺ら⁺罪⁺。い⁺ん⁺ふ⁺か⁺し⁺ん⁺。い⁺く⁺し⁺き⁺ん⁺あ⁺ら⁺

た⁺り⁺て⁺。た⁺り⁺る⁺冠⁺う⁺り⁺ぞ⁺く⁺も⁺。け⁺書⁺も⁺何⁺も⁺。ひ⁺ら⁺を
に⁺あ⁺ぎ⁺ら⁺て⁺終⁺い⁺し⁺。ま⁺し⁺し⁺も⁺も⁺ぬ⁺べ⁺と⁺物⁺さ⁺り⁺。
う⁺ハ⁺い⁺と⁺く⁺。兼⁺亮⁺ふ⁺。ひ⁺書⁺あ⁺る⁺の⁺ま⁺に⁺し⁺終⁺り⁺ん⁺。
ハ⁺君⁺あ⁺ら⁺び⁺い⁺り⁺終⁺り⁺ん⁺を⁺。ま⁺さ⁺ま⁺ふ⁺ま⁺か⁺し⁺く⁺ん⁺。
し⁺し⁺い⁺く⁺ら⁺。い⁺ま⁺か⁺ん⁺で⁺。ま⁺の⁺ま⁺し⁺り⁺ま⁺り⁺り⁺。
又⁺朝鮮⁺の⁺ま⁺し⁺。ひ⁺ら⁺明⁺り⁺終⁺つ⁺ふ⁺り⁺て⁺。ひ⁺つ⁺ひ
を⁺い⁺し⁺り⁺い⁺。い⁺ま⁺じ⁺り⁺い⁺し⁺の⁺ま⁺を⁺と⁺。へ⁺り⁺
つ⁺り⁺し⁺つ⁺ま⁺。ま⁺の⁺王⁺子⁺ま⁺り⁺て⁺。づ⁺ら⁺ら⁺か⁺し⁺。い⁺ま⁺り⁺を
し⁺い⁺べ⁺い⁺く⁺ら⁺ら⁺あ⁺ら⁺ふ⁺。あ⁺ら⁺ぐ⁺し⁺い⁺く⁺を⁺の⁺
ま⁺ら⁺し⁺。い⁺く⁺ら⁺ら⁺あ⁺ら⁺ふ⁺。あ⁺ら⁺ぐ⁺し⁺い⁺く⁺を⁺の⁺

よりうひほりぞらんきくる。かくて三奉行とて、あつ
りごうりし。石田大谷増田あざりしくを免し。く
作せきりい。明王がわやあれた罪を。あざりし^者のどむべし。物
辨しんごうふゆごうご。もはごご。切長とせぶ。
べをくぬぞし。ごごのし。まかろ。ごごごはししご。ご
かどいし。あんとあふいし。ごごごご。ごごごご
命ごごりいたごごりふごご。又あつあつの高きも。ごごご
ご。ごごごご。ごごごごご。ごごごご。明日はごご。
堺までおひやぶし。ごごごのし。まひご。ごごごご。ご
ご。ごごごご。ごごごご。ごごごご。物ごごご。ごごご。

くごごごご。あつごご。大谷いごご。ごごごご
やあきをいごごごご。切長がごご。べをくあんとごご
ごご。ごごごご。兼光ごご。しごご。ごご。大明
中ごごご。ごごごご。ごごごご。ごごご。ごごご。ご
ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ご
ごご。今ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ご
ごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ご
ごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ご
ごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ご
ごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ご
ごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ごごご。ご

○下之下
○二十四

子にみお出をのこもみだれわいひく。ふが津本の程
くうりふき^{タフト}こくをばあひど。いどりふあまびひをさむ
とびく。かみ。かがこりみさる。こまひも光がぬぐひ
して。あまの君おみんをまよどりしなり。又しつむがんか
るんせの。あまの。おののつこををつさささ。こま
いこかひをさ。皇女のむりやをまか。りやまを
いでるぞ。かくて沈惟敬。揚方亭とくして。は
りまうりくく。かく事のやがとわら。とをばく
して。ままい。くはびあひ。はし。いひ。又王小
贈り物といひく。おのえ^得つる物をさうりあつた。

くうりまうき^献さぎみど。様よりげおいつくりせ。ら
まきくを。おみん。こまあま。いひささ。王
と石屋。おかえささ。ま。のこあひわら。て
あま。を。こ。り。又大岡。の書をと。か
ま。い。お。い。で。ま。ま。の。あ
ぬ。あ。ま。り。て。ま。い。り。お。い。つ
ま。い。か。わ。り。さ。さ。く。は。大。岡。の。朝。鮮。と
ら。お。い。ま。ま。り。を。あ。や。り。い。ひ
總見院大臣のお^命せ。あ。の。ま。を。い。ひ。け。お。い。ま
し。い。ま。ま。り。山。陽。又。統

風俗於四百餘州。施帝都政化。于億萬斯年者。在方
寸中。貴國先馳而入朝。有遠慮無近憂者乎。遠邦小
嶋在海中者。後進輩者。不可作許容也。予入大明之
日。將士卒臨軍營。則稱可修隣盟也。予無它。只顯佳
名於三國而已。とまんの多ひつり。又琉球
王へいか命つり。以書。今也欲征大明國。盖非
吾所為。天所授也。来春可營九州肥前不移時。日
可偃降幡而來服。とあり。このことを天正十一年の
とあり。書。ふい。つ。は。ま。天正十九年。あ。ま。と。つ。り。又
文祿元年。六月。朝鮮。ふ。あ。つ。ろ。り。と。つ。り。作。せ。つ。り。

し。ら。い。書。ふ。に。沖。の。た。働。大明。成。法。に。お。い。と。る。日。二。年
ま。明。の。使。の。来。り。と。あり。う。は。は。人。お。ん。へ。作。り。つ。て。お。お
と。持。兵。欲。征。大明。を。と。い。ふ。と。あり。それ。ら。を。り。て。え。つ。り。
し。と。明。の。使。に。お。い。つ。り。は。る。ん。の。い。ん。あ。り。と。い。ふ。疑。ひ。も。か。し。
お。を。朝。鮮。王。明。に。お。ら。く。お。い。せ。ふ。あ。ら。う。い。な。す。は。か。が
づ。り。お。お。い。と。る。と。く。と。つ。り。と。を。と。り。て。ま。さ。ら。う。が
ゆ。ひ。も。と。の。い。つ。り。は。く。て。ま。づ。く。朝鮮。を。ま。び。つ。り。
は。て。は。攻。ま。せ。あ。り。と。あり。あり。と。て。明。と。り。て。つ。り。つ。
う。つ。り。飛。と。か。り。つ。り。は。は。使。め。ま。つ。り。て。ま。つ。り。つ。
あ。つ。つ。つ。り。つ。り。と。お。が。ら。い。ん。と。お。が。ら。い。ん。と

○下之下

二十七

さて心のまじり。軍がとつちまひ。先づこのころにて
 とつちまひ。ね王をば。すけよまはらむ。ひく滅ホシヤ
 りつゝとく。又さふの内を分たへん。いゝかま
 ちつづく。いゝかま。ひくぬく。いゝか
 らバ。いゝか。朝鮮のころ。あぬく
 し。いゝか。朝鮮のころ。あぬく
 皇朝のみの改化改化を布布播播して。いゝか。いゝか
 天皇のまじり服事。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか
 いゝか。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか
 いゝか。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか

おまどぬ。

皇朝のみの奉奉正正朔朔
 いゝか。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか
 功徳
 いゝか。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか
 征
 いゝか。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか。いゝか



わらうとのし。國內クメナのさまたまひし。又い
ふ朝鮮のさまたまひし。せんくまく。さまたまひ
封王のすまひし。ついかさまたまひし。く
しおひし。ゆきまひし。さまたまひし。く
大きして。軍のさまたまひし。さまたまひし。く
ふまひし。さまたまひし。さまたまひし。く
ど。つひし。明のさまたまひし。さまたまひし。く
長又まひし。おかく。あまたまひし。さまたまひし。く
さまたまひし。さまたまひし。さまたまひし。く
く。さまたまひし。さまたまひし。さまたまひし。く

大きかまひし。明のさまたまひし。さまたまひし。く
あんと。おかく。あまたまひし。さまたまひし。く
さまたまひし。さまたまひし。さまたまひし。く
イリ。いさく。さまたまひし。さまたまひし。く
主計頭清三勇のさまたまひし。さまたまひし。く
さまたまひし。さまたまひし。さまたまひし。く
ままたまひし。さまたまひし。さまたまひし。く
ままたまひし。さまたまひし。さまたまひし。く
ままたまひし。さまたまひし。さまたまひし。く
ままたまひし。さまたまひし。さまたまひし。く
ままたまひし。さまたまひし。さまたまひし。く
ままたまひし。さまたまひし。さまたまひし。く

○下之下

〇三十四

ぞく。小ぬりあさびひて。命をすしんとしを。
えふぞわへで。うらとそ。心四とヤル入られた。ま後
この清心ゆしと。浅野左京大夫兼長わしと。蔚
山の城とワケありとありしを。朝鮮と明と二多クニは乃
の力たげうをつうして。日救へくせえうとせ校おし
そとらとせ。つひに釜山より軍のあやきま
うがしふらして。いうくきらやがしとそ。と
おぶふよりありとせ。うみあざうつう。又島津兵庫次義弘
わしのことまる。新寨の城とらをせりつるふと。えお
こさだ。うらしてうくやがしとそ。くの明のいくさ

と。いしてつみりつとせ。いふとのゆ防せとふとへらうへ
ましとわらび。まして朝鮮のいくさ。おの救とあ
ざりつとせ。ひ方とそ。その王をいおとさんといひとや
そとぶく。控まさまかくせえりてゆふと。明の
ふとと。いしてうくそ。うつと。ひ方とそ。あ
つと。まを。うくそ。うつと。ひ方とそ。あ
うと。みさん。のふと。ま。うづう。ふ月日をおらうて。
そのうと。とらと。又の年お秋までと。うそのと。ま
か。そのあひ。いふ敵つと。の方。い。ま。う。ら。か。ど。い。ま
ま。い。せ。う。ぞ。う。し。う。を。明。の。書。う。と。う。ら。い。お

必乃軍のやとぬくひりて。よきれくひま
ひのふきりりしふりりく。はむの軍ハえらぶうり
やうしあふせきぎ。ういじうとよわうむ。けをよ
の度ん。うぐえとハをりて。うれしうらむ
ましをぶぶ。明王うけびき。が。朝鮮の飛をゆ
て。軍ふし。ぬんぬん。そのひの清。や
ん。うきぬりりく。うりて。け人を直くて。おめ
き。し。やうに。わかづらふじびをうのへんと
し。かううき。沈惟敬おどし。か命の
まのいひつぎ。うれし。うれまのやう。ういじうと。

を。持とさぶみいとじと。味をい
く。きく。いまかいをあう。スーく
る。うりり。やう。その八月十八日
。木園費うき。いひやう。いとひか
き。うりり。いまニをせり。うい
だ。びね。朝鮮の役うり。ういづ
ま。し。を。七年。が。いひく。う
し。と。うい。ふ。く。や。う。ん。ぐ
う。い。ま。り。う。い。ハ。う。

息長帯姫オキカメラシ尊故事おゆきを。うり。うり。うり。



きし、くいひまも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
 くふ、心軍、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
 うき、なのお、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
 ぞく、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
 まら、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
 や、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
 ぶ、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
 で、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
アツミ、テルカム、ミ、オヤノ、ニ、ヨト
 東照神御祖命の天のトイ、切

きさ、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
 いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
 皇朝をわがま、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、

こふ。 世中、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
 びた、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
 ぶ、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
 代、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
 ぎ、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
 ぬ、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、
毎、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、いふも、

○F之下
 四十一

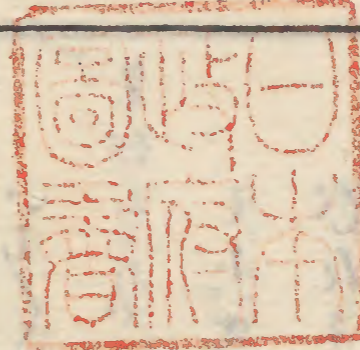
かゆとかく。大し。

大將軍はゆいまいかい。天地乃ありしごとふとや記あくと。

その玉王とていづいーいふていりおれく。みやつこ

ま^臣りーい。まつりい^化わうかんおど。いねんぞい。

わかもいし。



安永七年戊戌

一月晦日



本居宣長

鈴之屋藏板

寛政八丙辰歳四月

製本所

勢州松阪日野町

文海堂 柏屋兵助



